

2009年12月22日
株式会社アグリコンパス

JGAP協会との業務提携について

当社は、2009年11月、特定非営利活動法人日本GAP協会（東京都千代田区、高橋政行理事長）（以下「JGAP協会」という）と業務提携契約を締結しました。これはJGAP協会「システム開発への協力に関する細則」にもとづいて締結される初めての提携契約です。当社は、JGAP協会が制定したGAP（Good Agricultural Practice: 適正農業規範）である「JGAP」に準拠したシステムおよびサービスを開発することで、その普及に協力してまいります。

食の安全・安心への関心の高まりの中、安全な農業生産の指針となるGAPに則って農業生産に取り組む農業者が増えています。これはわが国のみならず世界的な潮流となっています。わが国においては、地域、目的、制定者の立場などの違いに由来して異なるGAPが複数存在しますが、その中であってJGAPは、生産側と流通側の双方から支持を得て、現在最も広く普及しています。JGAPは認証制度の下に運用され、認証農場数は増加の一途をたどっています。（2009年10月末現在 563農場、JGAP協会発表）

JGAPに則って農業生産を進めるには、約130もの管理点（青果物2.1版）があり、認証取得にはすべての管理点で定められた要求水準を満たす必要があります。その分、管理業務が煩雑になるという問題を抱えており、JGAPのさらなる普及に向けては、IT活用による効率化が有効と見られています。

当社は、JGAP協会の監修のもと、農業関係者向けシステムサービス「アグリプランナー」をベースとしてJGAP認証農場での利用に適した一連の機能を開発し「JGAP対応型アグリプランナー」を商品化いたします。さらにJGAP協会の推奨を得て、JGAP認証農場および今後認証を目指す農場向けに提供し、農場の管理業務を効率化することを狙います。

「JGAP対応型アグリプランナー」は2010年春リリース予定です（価格未定）。

以上